

令和2年度事業報告

【法人運営】

1 理事会

開催日	議題
5月23日	平成31年度事業報告及び決算が承認されました。 令和2年度の社会福祉充実計画を策定しません。 評議員会開催日が承認されました。 4月度5月度の理事長報告がありました。
9月26日	パート職員就業規則の改定が承認されました。 生活介護【工賃変動積立資産】の取崩しが承認されました。 6月～9月度の理事長報告がありました。
11月28日	第一次補正予算案が承認されました。 旅費規程の改訂が承認されました。 10月～11月度の理事長報告がありました。
翌3月6日	令和3年度事業計画（案）当初予算（案）が承認されました。 就業規則改定案及び給与規程改定案が承認されました。 再雇用職員就業規則改定案は保留事項となりました。 役員賠償保険案が承認されました。 てふてふ第二の再開に向けて改修は廣澤理事が経営に携わる広沢建設 有限会社にて依頼する提案が承認されました。 評議員会開催日時・審議内容が承認されました。

2 評議員会

開催日	議題
6月13日	平成31年度事業報告及び決算期計算書類の審議が行われ、承認されました。 社会福祉充実計画の見送りが承認されました。
翌3月27日	令和3年度事業計画（案）及び度当初予算（案）の審議が行われ、承認され ました。 役員報酬規程改定案の審議が行われ、承認されました。 理事長より中長期計画の提案がなされました。

○監事監査…5月15日（金）平成31年度事業報告及び決算の監査が行われ、適正との報告が行
われました。

【生活介護事業運営】

1 令和2年度を振り返って

年度当初より、新型コロナウイルスという未知の感染症に対する対策を手探りで行う状況でした。
どこにウイルスが存在するのか解らない為、全利用者を送迎にて対応し、各ご家庭にも外出を控える
話をさせて頂きました。送迎の件もあり、どのご家庭やグループホームも理解・協力を得ることがで
きました。

新型コロナウイルスの情報が徐々に解ってきて、利用者の安全確保を最優先に考慮し、施設内にお
いても作業の場所及び昼食を1階2階の両方に分けて行い、利用者にはマスクを2枚ずつ配布し、で
きる人だけでもマスク着用してもらうようにしました。

しかしながら、対外的なイベントは殆ど中止になり、自主製品の販売が止まってしまいました。緊急事態宣言の際には、下請け作業ももらえない状況が続きました。てふてふ第二の販売においても、狭い店内に人が密になる状況が発生する為、販売を中止せざる負えませんでした。1回目の緊急事態宣言の解除後、しばらくして区役所販売はフェイスシールドを着用し、再開できました。年度半ばには、換気が重要である事から、てふてふ第二に補助金にて網戸とエアコンの設置を行いました。1F・2Fの上下別れての対応で人員を配置する事が難しく、なかなか販売を行うことができませんでした。年度途中には、1カ所の委託販売先を契約する事ができました。そんな中、職員からの提案で、11月より第3水曜日に、てふてふの前の駐車場を利用してフリーマーケットを開催する運びとなりました。屋外なので換気も気にせず、また施設内で何かあれば直ぐに戻る事ができる為、地域の方々に開催の案内と寄贈物品のお願いをしたところ、沢山の寄贈の連絡があり、開催することができました。とは言え、屋外の為、天候に左右されることもあり、12月は寒さの為、来場者がかなり少なく、1月2月は新型コロナウイルス感染第2波の緊急事態宣言が発令された為、中止せざる負えませんでした。3月には開催でき、来場者の方々からも待っていたとお声を掛けていただきました。

工賃について、従来の工賃規程でも月の収入から必要経費を除いて分配するとなっていました。以前からの分を補填に当て、できる限り同じ工賃でお支払いしてきました。年度末にはそれも底を尽きてしまいました。収入からの分配には、収入が激減した中、そのままの計算方法で分配するには、評価項目や計算式を組み立て直す必要があります。工賃規程の変更にも正職員全員で取り組みました。

新型コロナウイルスの影響で、不安定になってしまった利用者もあり、毎日送迎にて対応しております。ストレスは、あちこちに出てきており、少しでも解消できるようにと行事の日は、職員がアイデアを出し合って、楽しみを提供しました。

2 開所状況 開所日数 257日 利用者延べ人数 7391人 平均利用者数 28.7人 稼働率 71.9%

3 利用者数の変遷 (令和2年度末時点) 33人

年度末	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	H. 31	R. 2
男	14	14	11	13	14	14
女	18	19	19	17	18	19
合計	32	33	30	30	32	33

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	0	6	3	3	1	1	0	14
女	3	4	2	7	2	0	1	19
合計	3	10	5	10	3	1	1	33

支援区分	3	4	5	6	合計
男	3	4	5	2	14
女	6	10	3	0	19
合計	13	11	6	1	33

平均支援区分 4.2

4 職員体制

(令和2年度末時点)

管理者	常勤・兼務	1名				
サービス管理責任者	常勤・兼務	2名				
生活支援員	常勤・専従	4名	常勤・兼務	1名	有期・専従	4名
看護師					有期・専従	1名
事務員	常勤・兼務	1名				
医師			嘱託医			1名

年度初めに常勤1名入職、年度下旬に有期1名入職しました。

5 生産活動(自主製品作りの販売・下請け)

単位：円

内容	平成31年度	令和2年度
自主製品売上(クッキー、刺しゅう雑巾他)	1,061,225円	900,401円
下請け(輸入雑貨検品、バネ検品他)	610,128円	375,097円
リサイクル品販売	399,683円	56,650円
合計	2,071,036円	1,332,148円

※<販売先> ・天白区役所(毎週水曜日10時~12時)

・その他各種イベント

	平成31年度	令和2年度
工賃(32名分)	1,655,030円	1,469,710円
一人月平均	4,309円	3,827円

6 職員研修

日付	研修名	参加者
10月9日	初任者研修	塚田 美矢

7 主な行事

コロナによって中止行事

月	内 容
4	徳林寺花祭り：1日~7日
5	防災訓練 障害者スポーツ大会：10日 フットベース交流会
6	健康診断
8	夏期休業
9	防災訓練 バス旅行(南知多方面)…マイクロバス1台・ハイエース2台・ステップワゴン1台を使い、えびせんべいの里→まるは食堂→南知多ビーチランドを巡った。
10	天白区区民祭り：25日
11	感謝祭 施設間交流(TUTTI訪問) インフルエンザ予防接種 福祉と映画のつどい14日
12	忘年会 年末年始休業
1	島田神社へ初詣 新年会・新成人を祝う会…新型コロナウイルスの為、てふてふ内にて開催。
2	防災訓練
3	梅まつり

【共同生活援助運営】

1 2年度を振り返って

入居状況は、豊が丘に於いて、9月に1名入居、3月に体験を経て1名の入居がありました。満床です。昨年度の短期入所からの利用・体験を経て入居された方々です。藤が丘は引き続き満床です。

7月、リフレッシュ1泊の旅を2居住合同で行いました。しかしながらスポーツ大会、てふてふ感謝祭などはコロナウイルス感染予防で中止が相次ぎました。

1名の入居の方の日中の仕事が続けられなくなり、担当者会を経て、今訓練に励んでみえます。職員総出で応援をしているところです。そうこうしているうちにもう一人の方も精神障害による入院を経て、就労がふらついてしまい、連日の担当者会開催し、サポートを継続しています。

2 開所状況

平均稼働率（延べ利用日数月利用可能日数月定員）88%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数の変遷(定員16名)	14	14	14	14	15	15	15	15	16	16	16	16	
延べ利用日数	395	381	396	411	403	412	419	383	392	403	407	454	4866
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

<年齢>

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計人
	5	4	4	3		16

3 職員体制

管理者(サービス管理責任者兼務)	常勤・兼務	1名		
生活支援員(世話人兼務)	常勤・兼務	3名		
世話人			非常勤	9名

4 職員研修

9月 26日	親亡き後の高齢知的障害者の意思決定支援	林 輝義
11月 5日	知的障害者研修(オンライン)	加藤 隼
12月 7日	人材定着研修(オンライン)	井上 栄正

5 夜間体制

夜間体制加算・・・常時電話対応、宿直対応は体験利用者に合わせて月1、2回行った。

【短期入所運営】

1 2年度を振り返って

平均3名の利用者が利用しています。ホームの方へ移行した利用者もいらっしゃいますので、新規開拓を考えてきました。

2 開所状況

稼働率（延べ利用日数月利用可能日数1床）48%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数	3	3	4	4	3	2	4	3	2	2	2	3	35人
延べ利用日数	24	20	24	30	12	10	14	12	6	8	8	10	178日
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日

【相談支援事業の経営】

1 一般相談支援(定着)事業

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
主な障害	知的	1	2	0	1	0	0
	精神	0	0	0	1	1	0
居住区	天白	1	2	0	2	1	0

2 特定相談支援事業

令和2年度新規相談件数 18件(合計140件:内 契約解除累計50件)

主な障害		居住区		利用されるサービス(重複を含む)	
精神	14	天白区	8	生活介護	2
難病	2	名東区	7	居宅支援	14
知的	1	緑区	2	就労継続支援	4
身体	1	昭和区	1	共同生活援助	2

3 職員体制 常勤2名

4 職員研修

毎月第3金曜日 名東区基幹相談支援センターによる部会に参加

令和3年2月5日 高次機能障害リハビリテーション(WEB講習会)参加:高井

令和3年3月11日・12日 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 参加:高井

令和3年3月13日 施設入所からの地域移行の支援実際と課題 参加:香月

5 課題

訪問に行く際、訪問先の感染により中止となった所はありませんが、濃厚接触者対応として訪問を見合わせた所が2件ありました。また、コロナウイルス感染防止により入所施設及び新規の短期入所への見学面談がほとんど行われなくなりました。令和元年度末、予定していた見学や新規の利用が見合されており、感染予防はこれからも引き続き実施していく課題と考えています。

ご本人との面談によって必要なニーズを聞き出しているつもりではありますが、「B型は止める、地域活動にしてほしい」など、変更が度重なり、各関係諸機関には日程・人員調整などで変更を依頼しました。今後はしっかりした面談による計画案の提出をしていきます。その為にもいろいろな社会資源を把握し、それらとネットワークをもっていかなければならないと考えています。

6 障害児相談支援事業 10件

外国籍の方の相談を基幹から依頼され行っていますが、通訳の必要性を痛感しました。的確なアドバイスができません。